

高所作業者の『安全の見える化』

見える化の実施前:

声掛けと目視で安全を確認!



作業責任者は、
・高所作業者への声掛け
・目視確認
により安全を確認した後
作業開始とトラックの
発信を指示!



見える化の実施後:

声掛けと目視に加えパトライトの色の違いとサイレンの音で安全を確認!

変更点)

- 1). 機械的な仕組みを導入。
高所作業者と作業責任者(地上)の両方がスイッチを押す事で安全の確認が出来る**機械的な仕組みを導入。**
- 2). 視覚による注意喚起。
パトライトの色を変える事で**視覚による注意喚起を実施。**
- 3). 聴覚による注意喚起
サイレンを鳴らす事で**聴覚による注意喚起を実施。**



①高所作業者の作業が終了し避難が完了した時点で高所作業場の退避完了スイッチが押される。



②作業責任者は作業が終了し安全が確認された時点で作業完了のスイッチを押す。



③両方のスイッチが押された時、
・パトライトの色が赤色 =>青色に変わる。
・サイレンの音が無音 =>警告音に変わる。

④作業責任者は声掛け、目視に加えパトライトの色の違いとサイレンの音で安全を確認をしトラックの発進の指示を行う。